

回覧



わがまち池上

池上管内世帯人口数
(外国人住人を含む)
(令和5年5月1日)

- ・世帯数 24,624
- ・人口(男) 22,210
- ・人口(女) 23,062
- ・人口(計) 45,272

発行：地域力推進池上地区委員会
編集：地域情報紙
「わがまち池上」編集委員会
事務局：大田区池上特別出張所
〒146-0082 大田区池上1-29-6
電話 (3752) 3441(代)



発行日3・6・9月の25日、12月15日

昭和20年3月、豊島区池袋で強制疎開にあい、縁故先の多摩村に移り住みましたが、間もなく終戦になり、20年9月初旬、大森区市野倉町六十九番地に転入し、私も池上第二国民学校3年に転入しました。しかし、「先生も生徒も疎開先から帰っていないので、しばらく学校には行けない」とのことでした。学校の校舎は、防火壁だけ残して、焼け野原でした。

10月下旬に学童集団疎開から先生と学童が帰ってきて、残留児童と転入生も一緒になり、入新井第四国民学校の教室を間借りして、11月に本格的な授業をやっと始めることが出来ました。

授業は国語の教科書の墨塗り処理が初めてでした。西日が入る教室で男性教師が読み上げる文章に墨を塗りました。この仮設校舎の教室で墨塗り処理したこと以外、授業のことや先



池上の昔を語る(30)

吉田長元さん

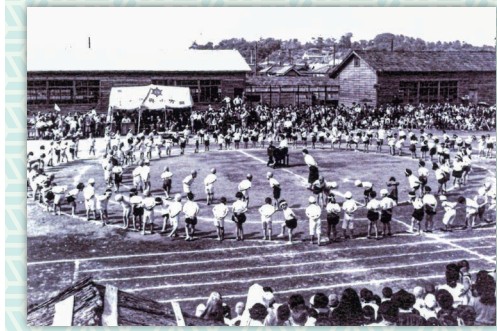
(中央8丁目在住)

生方のことを思い出させません。きつと午前・午後の二部授業だったし、先生方も固定していなかったためだと思います。

休み時間は西側運動場の半分を使って、鬼ごっこ・馬跳び・開戦ドン等、運動場の空き具合に合わせてよく遊びました。遊びといえば、私達学童は二部授業等で、時間が十分ありませんでした。その遊び場は、四間通り(旭通り)から見て南側呑川方面と東側の東海道線を越えて東京湾まで見えるかと思える程、先まで続く焼け野原でした。池やさびついた機械類が点在していて、エビガニや魚釣りの外、宝物探しにも興がありました。

昭和22年3月、木造平屋建てでしたが、本校が出来上がり、仮設校舎の入新井第四国民学校から各々椅子を持って、引越しました。

同年4月、池上第二小学校



昭和23年当時の池上第二小学校

と校名を改称。小学5年生は2クラスに分かれ、私達は西側の一番北寄りの教室でした。6年生になって、3クラスに分けられ、教室は北側になりました。廊下のない吹きさらしの教室だったけれど、そんなに不便は感じませんでした。

広々とした運動場で、ボール遊びが盛んでした。休み時間には、柔らかいボールを使って三角ベース・かど打ち・手打ち等の野球をしました。6年生になって、野球はクラス対抗だけでなく、町別対抗試合もありました。女子はドッチボールが盛んでした。今から思うと3クラスともよくまとまっていて、3・4年生の二部授業の遅れを取り戻していました。

昭和24年4月、大森第四中学校一年生になりましたが、まだ校舎がなく、入学式は入新井第四小学校の講堂でした。授業も、国民学校3・4年生の時間と同様、仮設校舎の教室でした。しかし、この仮設校舎での授業は、教室の配置のこと、授業のこと、先生のこと、友達のこと、しっかりと覚えていきます。

特に、この仮設校舎の講堂で学んだ大切な思い出があります。一つ目は能狂言のプロが来て舞台で演じ、それを授業の中で古典として学んだこと。二つ目は夏休みの研究発表会があり、「1年C組の福留君が「呑川の水源」を探索して発表したこと。素晴らしい学びでした。五十年後のことです。福留君に当時の話をしたら、「お父さんの協力を貰ってね。」と言っていました。

昭和25年4月、中学2年生になり、入新井第四小学校の仮設

校舎から本校のある新校舎に移ることが出来ました。

新しい校舎は、堤方神社の裏側で、教室は2階の西端でした。落ち着いて学ぶ環境が整ったと共に、緑豊かな学園に恵まれました。

池二小、大森四中ともに、私



池上小学校2年生の鯉のぼり



池上第二小学校2年生の鯉のぼり

今年、池上小学校2年生30匹と池上第二小学校2年生29匹の素晴らしい手作り鯉のぼりが新たに8列のロープで加わり、本門寺参道の霊山橋から妙見橋までびっしり賑やかに飾られました。新しく2年生になった4月初めから下旬の納品まで、先生方の指導の下、図工の時間を使って4人グループで一つの鯉のぼりを完成させたのです。

受け取った後、「呑川の会」で口紐を付けた形を整えたりして、ロープに結び付けました。親子連れで見に来て子供達が指

さして自慢げに話している風景を見ると、開催して良かったとつくづく感じました。

第8回は事前準備に3日間掛けて、5月2日(火)16時から呑川に飾りつけ、7日(日)の夕方まで飾る予定でした。6日(土)は天気良かったのですが、朝から風が強くなり、7日早朝から大雨強風になるとの天気予報が出ましたので、皆に呼び掛けて急遽6日16時から片付けました。7日に見る予定を組んでいた人には大変申し訳ありませんでした。

第8回 呑川鯉のぼり大会

連の在校中、まだプールと講堂はありませんでしたが、学校の将来はもとより、日本の将来と個人の夢と希望に明るさが見え始めた年でした。その頃、私達家族も池二小の東方向40メートル先に移り住みました。今年、七十年目になります。



お順と佐久間象山

昨年一月にNHKBSで放送された「小吉の女房」は、新井宿で一時期執筆活動をしてきた子母澤寛氏の小説「父子鷹」同様、いくら無役で禄高も少ないとはいえ幕府の御家人である父小吉が、幕臣としての身分を弁えず、市井の人々の揉め事や喧嘩の仲裁にいたりする自由奔放な生き方に、鱗太郎と母お信が翻弄されつつ支えてゆく夫婦親子の物語でした。

劇中姑に肩身の狭い思いをする、勝家の婿養子として描



池上小 作品

くずもち
6年 小島 詩織

アメ、チョコ、グミ、みなさんの好きなおかしは何ですか。あなたにとって特別なおかしと、どこで出会いましたか。私はここ池上で、とっても魅力的なおかしと出会ってしまったのです。それが「くずもち」です。池上に引越してきてすぐ、おいしさのとりこになりました。くずもちのことを調べてみると、すごく昔からある伝統的なおかしだということが分かりました。けれど、見ためはつる

かれています。小吉の祖は鍼医の米山検校です。

【検校】とは、

平安・鎌倉時代に置かれた官職で、当時は「荘官」と云い主に寺社や荘園の監督をする役職名でしたが室町時代以降盲官（盲人の役職）の最高位名称となりました。

米山検校は篤志家として知られ、財政難で困窮する大名に金を融通する「大名貸」をして財をなす一方で、宝暦の飢饉の際に郷里越後長島郷の窮民救済や、江戸に盲人学校設立にも尽力しました。

後、その財力で男谷家の株を買い旗本となり、息子の

男谷平蔵の三男とし小吉は生れま



した、一生部屋住みの身分でした。縁者である勝家の婿養子となり妻お信と夫婦となります。

小吉の女房お信の肖像画が大田区の掲示板「おたふれあい情報（5月号）」に掲載されています。NHKのドラマでは沢口靖子さんが演じています。

そこに登場する勝麟太郎と海舟の妹お順は、十七歳になった年に鱗太郎が師と仰ぐ御年四一歳の佐久間象山と、家族の猛反対を押し切り『天下一の学者の妻になることが予てよりの私の夢』と云って二四歳の年の差婚をしています。

望んで嫁いだお順でしたが象山との間には子が出来ず婚外子を育てたうえ、不肖な義息に手を焼くなど波乱万丈な人生を送ります。

又、佐久間象山も、のちに一橋慶喜に招かれ上洛し、尊王攘夷を唱える志士達

不穏な動きをする京都で、弊誌122号で紹介した「人切り抜刀齋」こと河上彦齋に、不用心にも単身京都市中を移動中襲われ不帰の客となっ

てしまします。その後、皮肉なことに海舟の三女逸子が男爵目賀田種太郎のもとに嫁ぎます。

夫婦共々亡くなると、池上本門寺墓地に埋葬されるのですが、逸子の叔父にあたる象山を暗殺した河上彦齋と、五重塔を挟んだ同じ境内に眠っているのも、何かの因縁でしょうが。

梅まつり



池上地区まちおこしの会による「梅まつり」が2月26日（日）、四年ぶりに開催されました。会場は新型コロナウイルス感染症拡大前と同じ南之院の駐車場。

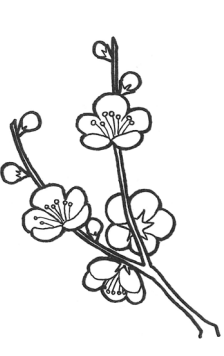
当日、池上梅園の梅は見頃にはまだ少し早かったのですが、お天気にも恵まれ、開園と同時に多くの方々が来園しました。

「梅まつり」の再開に沸く会場では、「池上みやげ」や当日限定のオリジナル弁当「池めし」を販売。観光パンフレットの配布や池上福祉園の作品ブースも設けられ、「焼そば」「おでん」「ソフドリンク」などの屋台が出店しました。

「池めし」は今回も大人気で、販売前から長い列ができ、200個がアツと言う間に完売しました。お昼過ぎには「おでん」もすべて完売。

そのあとも、会場内に設置された「お休処」は、梅の香りと春めく日差しをあびた方々の晴れやかな談笑が絶えませんでした。

また同日、大坊本行寺の境内でも「第三回大坊てづくり市」が行われており、賑わいを見せていました。



池上特別出張所長 林 洋一

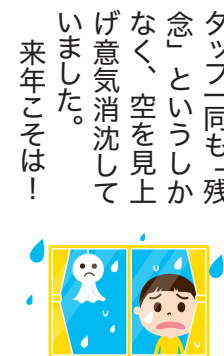
四月一日付で池上特別出張所に着任いたしました。

池上地区は東京23区にありながら、緑豊かで歴史と伝統があり、落ち着いた雰囲気のある大変魅力的なまちです。また、近年では、池上駅周辺が再開発され、より便利で居心地の良いまちへと発展しています。

新型コロナウイルス感染症の規制緩和が進み、今年度は様々なまちの行事が復活することでしょう。これらの機会も活かしながら地域の皆様と共に、池上地区のさらなる発展に尽力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

青少年対だより

コロナ禍中ということでも三年間中止されていたガーデンパーティーは、今年も雨天のため中止となってしまいました。楽しみにされていた皆様には、本当に申し訳ありませんでした。スタッフ一同も「残念」というしかなく、空を見上げ意気消沈していました。



俳壇

桐里 龍之

春嵐 去つて茜の日暮かな

春木立 遠くに望む 本門寺

行く春や 沙汰なき友の 安否問う

亡き人の 思い出偲ぶ 初夏の蝶

香川の 鴨とかえると まわり道



〈訂正とお詫び〉

「池上の昔を語る（29）」の霊山橋の振り仮名が「れいぜんばし」になっていましたが、「りょうぜんばし」に訂正するとともに、お詫び申し上げます。

編集後記

過日、路地を歩いていると、子どもが道路に描いた線路がありました。「異次元の少子化対策」が叫ばれている今日、こういう光景もほとんど見られなくなりましたが、ちよっと楽しい気分になりました。

私事ですが、この二月、ファミリーサポートおたの提供員養成講座を受講しました。私が最高年齢で唯一の男性の受講者でした。